

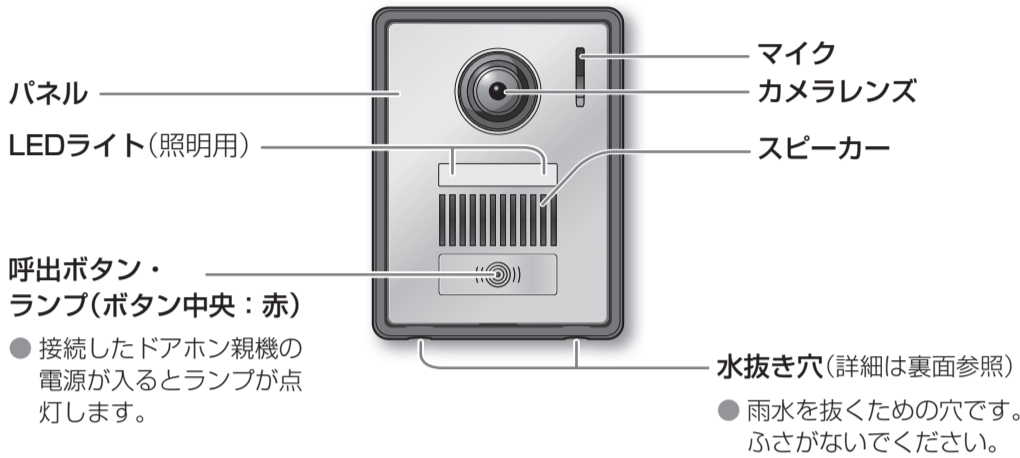
カメラ玄関子機 露出型

品番 フィエル フィ エール **VL-V523AL**

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

施工をされる方へ

- 本書および接続するテレビドアホンの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。特に「安全上のご注意」は、設置前に必ずお読みください。正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 施工終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。
- 本書に記載のイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。



お知らせ

- 本機周囲の温度差によって、カメラレンズが結露し、映像が見えにくくなる場合があります。(常温に戻ると回復します)

〈本機の画質について〉

- 太陽光などの強い光が入ると、光の反射模様や白い輪が映ることがあります。
- カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。
- 夜間など本機の周囲が暗いときの映像について
 - ・ 外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがあります。
 - ・ LEDライト点灯時でも、撮影範囲の両端付近はライトが届かず、本機との距離が近くても顔の識別がしにくくなります。(補助灯などの設置をお勧めします)

仕様

電源	ドアホン親機より供給	携帯機器入力端子 (2系統)	入力方式：無電圧メーク接点 検出確定時間：0.1 秒以上 接点抵抗値 ・メーク時：500 Ω 以下 ・ブレーク時：500 kΩ 以上 端子間短絡電流：5 mA 以下 端子間開放電圧：DC 7 V以下
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	約131 mm × 99 mm × 31.5 mm (突起部除く)		
質量	約 190 g		
使用環境条件	周囲温度 -10℃～+50℃ 湿度 90% 以下	最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
最大画角	水平 約87°、垂直 約66°	照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
取付方法	JIS 1 個用スイッチボックス適合	防塵性・防水性	IP44*
外観材質	難燃樹脂		

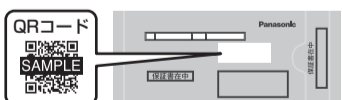
*防塵性規格等級4：直径1.0 mm以上の固形物が侵入しないレベル
防水性規格等級4：あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書のQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。



* QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

■保証とアフターサービスについて

接続した親機の取扱説明書に記載していますので、そちらをご覧ください。

■ 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

■ This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2020



PNQX9036YA

PNQX9036YA F0720MR1110

Printed in Vietnam

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

⊘ してはいけない内容です。

⚠ 実行しなければならぬ内容です。

警告

■ 分解・修理・改造しない

⊘ 火災・感電の原因になります。
分解禁止

● 修理は販売店へご相談ください。

■ 指定以外の端子に電源(AC100 V)を接続しない

⊘ ショートして火災・感電の原因になります。
禁止

■ 耐雨構造ですが、ホースなどで直接水をかけない

⊘ ショートして感電の原因になります。
禁止

■ 雷のときは配線工事をしない

⊘ 火災・感電の原因になります。
禁止

■ チャイム線など既設の配線を利用する場合は、AC100 Vが通電されていないことを確認する

⚠ そのまま使用すると、感電の原因になります。

● 販売店へご相談ください。

注意

■ 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない

⊘ 絶縁劣化により、感電の原因になることがあります。
禁止

■ 土中埋設配線する場合は、保護管を使用する

⚠ 使用しないと、感電の原因になることがあります。

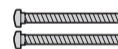
取り付けの前に

■ 付属品の確認

□ 木ねじ・小ねじ 各2個



木ねじ
(3.8 mm × 20 mm)



小ねじ
(4 mm × 25 mm)

■ 設置場所について

- 底面の水抜き穴をふさいだり、北向きに設置すると結露しやすくなります。
 - ・ 本機周囲の温度差によって、カメラレンズが結露し、映像が見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
 - ・ 断熱材(発泡スチロールなど)を用いて、壁の穴を埋めるか、壁と本機の間を挟むと結露しにくくなります。
- 振動、衝撃のあるところや硫化水素が発生するところには設置しないでください。(故障などの原因になります)
- 下図のような逆光になる場所への設置は避けてください。(来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります)



- 近傍に照明がある場合、遮光や減光が必要な場合があります。(照明光の映り込みや夜間の映像劣化防止)

取り付けの前に (つづき)

■ エントランスポール、サインポスト、カメラ角度調節台への取り付けについて (取り付ける場所や位置に応じて下記の機器をご利用ください)

- エントランスポールやサインポスト：パナソニック(株)製 (2020年11月現在)

エントランスポール (機能門柱)	アーキフレーム(A~D、F、G、Iタイプ)、アーキッシュポール、アルモナ
サインポスト (郵便ポスト)	ユニサス(ブロックタイプ、ブロックスリムタイプ)

- カメラ角度調節台：パナソニック(株)製 (2020年11月現在)

品番	縦用	横用	備考
VL-1301A	縦用		補正角度：上下方向 6°
VL-1302A		横用	補正角度：左右方向 30°

本機の取付角度を変えることができます。詳しくは、カメラ角度調節台の説明書をお読みください。

< エントランスポールやサインポストに取り付けるとき >

- エントランスポールやサインポストの説明書に従い、正しく取り付けてください。
- 照明付きのタイプでは遮光や減光が必要な場合があります。(照明光の映り込みや夜間の映像劣化防止)
- サインポストへの取り付けの場合
 - ➔ 蛍光灯回路(AC100V)とは別のケーブルを使用し、新しく配線してください。
 - ➔ カメラ角度調節台(別売品)は、使用できません。

配線材の線種と配線距離

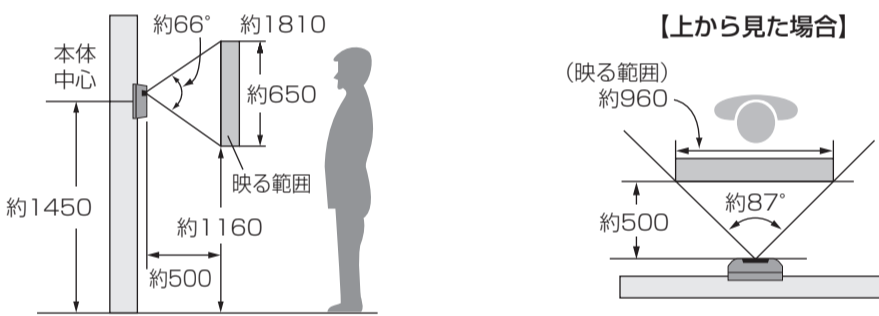
配線区間	線種	配線距離(最長)
本機 ~ ドアホン親機	インターホン用平行2線式ケーブル 単芯線(mm)：φ0.65~φ0.9	100 m
本機 ~ 連携機器入力端子に 接続可能な機器	単芯線(mm)：φ0.65~φ0.9	50 m

取り付け位置(高さ)と撮影範囲

下図の撮像範囲は、カメラから約500 mm離れた場合のものです。(図中の寸法単位：mm)

カメラ角度0° (正面)のとき (お買い上げ時)

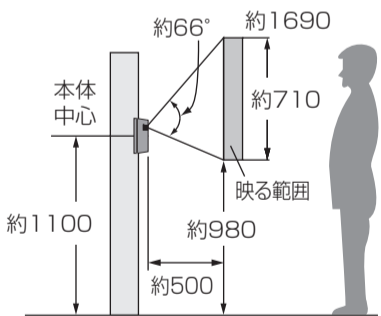
標準位置(本体中心までの高さが約1450 mm)に設置する場合



下図のように、標準位置より低い位置や、左または右に離れた位置に設置する場合は、カメラ角度調節レバーで、映る範囲を調節できます。(☞ 右記「取り付けかた」の手順3)

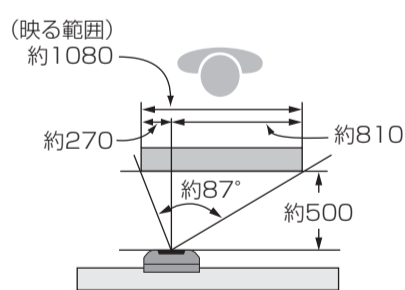
カメラ角度15° (上向き)のとき

本体中心までの高さが約1100 mmに設置する場合



カメラ角度15° (左右)のとき*

正面より左または右に離れた位置に設置する場合(例：左向き15°)

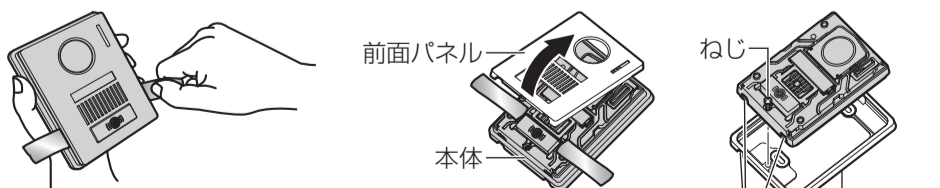


*上向き15°の場合、左または右向きに約7°まで

取り付けかた

1 前面パネルと露出ケースを外す

- ① 両端に出ている青色テープを片方ずつ手前に強く引っ張り、前面パネルの下側を本体から外す(ロックが外れる)
- ② 前面パネルの下側(本体から外れた部分)を持って強く引っ張り、本体から完全に取り外す
- ③ 青色テープを外して下図のねじをゆるめ、露出ケースを外す



ロックが外れなかったとき

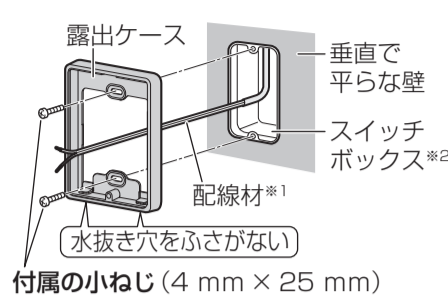
底面の穴に⊖ドライバーを差し込んで押し下げ、前面パネルを持ち上げてください。(パネルを傷つけないようご注意ください)

押し下げる
水抜き穴：4か所(設置時にふさがらない)

取り付けかた (つづき)

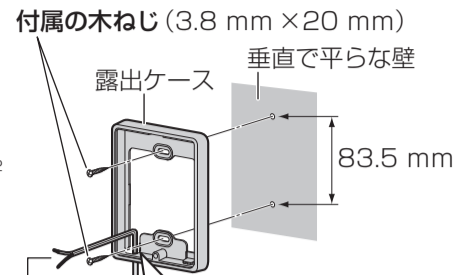
2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



付属の小ねじ(4 mm × 25 mm)

■ 壁の場合(露出配線)



左右にリブがあり、配線材を通す側のリブを点線の部分から折り取ってください。配線材を通さない側のリブは折らないでください。(防塵性・防水性が悪くなります)

配線材*1はリブを折り取った側の水抜き穴に通してください。

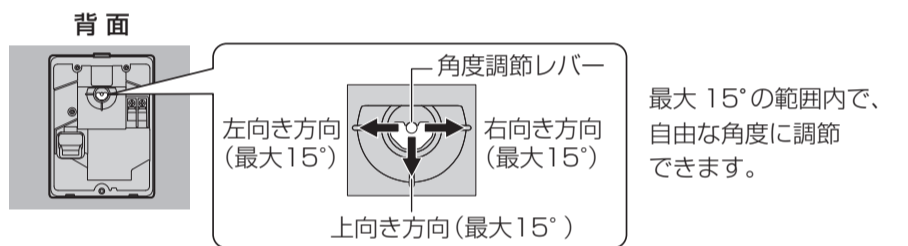
※1 (既設の配線を使用する場合)

- 壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm²以上のより線」のときは、電源線(AC100Vなど)の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)
- 電圧がかかっている配線材を本機に接続すると、機器が壊れます。

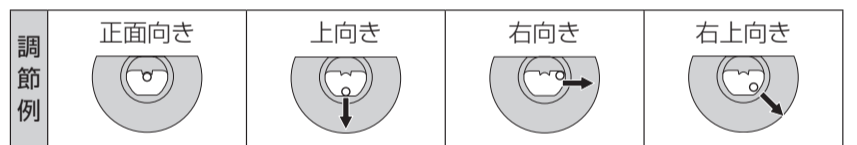
※2 JIS 1 個用スイッチボックス

底面に穴(スリット)がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。

3 カメラレンズの角度を調節する



最大15°の範囲内で、自由な角度に調節できます。



- 「左向き」、「左上向き」にも調節できます。
- 「左上向き」または「右上向き」に設定すると、画像がひずむことがあります。

4 本体に配線材を接続して露出ケースに固定し、前面パネルを元のように取り付ける

- ① ねじをゆるめ、配線材を差し込む
- ② ねじを締める*3
- ③ 露出ケースに取り付けてねじを締める*3
- ④ 前面パネルを取り付ける



取り付けが終わったら...

- 本機の呼出ボタンを押して、ドアホン親機が動作することを確認してください。

※3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを0.7 N・m (7 kgf・cm)以下に設定してから固定してください。